

(地 14F)

平成16年4月26日

都道府県医師会

感染症危機管理担当理事 殿

日本医師会感染症危機管理対策室長

雪 下 國 雄

中国でのSARS報告事例について

時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

さて今般、厚生労働省では、新聞等で報道されております中国におけるSARS患者発生に関連して、中国でのSARS報告事例についてとりまとめを行いました。

また、厚生労働省では検疫所の対応強化として、4月24日から感染拡大等がないことが確認できるまでの間、1.中国への出国者に対して、患者発生に関する情報提供、渡航中の感染防止等の注意喚起の徹底、2.中国からの入国者に対して、(1)発熱、呼吸器症状を呈した者の申告を積極的に求める、(2)当該入国者を特定の検疫ブースに誘導するなどしてサーモグラフィー又は体温計を使用した体温測定を実施、の対応をとることとしております。

つきましては、本資料をお送りいたしますので、貴会におかれましても本件についてご了知いただき、貴会管下郡市区医師会等に周知いただきますようよろしくお願い申し上げます。

中国でのSARS報告事例について

症例	確定例	確定例	疑い例	疑い例	疑い例 ~
診断	SARS確定例 (中国政府) SARS可能性例 (WHO)	SARS確定例 (中国政府) SARS可能性例 (WHO)	SARS疑い例 (中国政府) 検査結果待ち (WHO)	SARS疑い例 (中国政府) 検査結果待ち (WHO)	SARS疑い例 (中国政府) 未発表 (WHO)
性・年齢	26歳・女性	20歳・女性	女性 (確定例「」の母親)	31歳・男性	-
居住地	安徽省	北京市	安徽省	北京市	-
職業等	安徽医科大学・大学院生 (国立ウイルス学研究所に おいて研修)	健宮病院・看護師 (確定例 「」を看護)	確定例「」の母親 (確定 例「」を看病)	国立ウイルス学研究所 研 究者	確定例「」の父親、母親、 おば、同じ病室にいた患者
経過	3月7~22日 北京・国立ウ イルス学研究所で研修 3月25日 発病 3月29日 健宮病院入院 4月3日 Huainan第2病院 入院 4月4日 Anhui医科大病院 入院 4月23日 中国政府がSAR S確定例と発表 (WHO は可能性例と分類)	4月5日 発病 4月7日 健宮病院入院 4月14日 北京大学病院工 U入院 4月22日 SARS抗体陽性 4月23日 中国政府がSAR S確定例と発表 (WHO は可能性例と分類)	4月8日 発病 4月19日 死亡 4月23日 中国政府がSAR S疑い例と発表	4月17日 発病 4月22日 隔離入院 4月23日 中国政府がSAR S疑い例と発表	(確定例「」の接触者とし て経過観察中に発熱) 4月25日 中国政府がSAR S疑い例と発表
接触者等	133名の接触者を経過観 察中	337名の接触者を経過観 察中 4月25日 中国政府が「確 定例「」の父親、母親、 おば、同じ病室にいた患 者がSARS疑い例であ ると発表			

中国におけるSARS患者の発生を受けた検疫所の 対応の強化について

平成16年4月23日

健康局結核感染症課

現状

現在、中国政府の発表等においては、北京においてSARS患者が1名発生し、安徽省においてSARSが疑われる患者が1名発生という情報に加え、
・ 安徽省の例もSARS患者と確認され、当該患者との接触者に死亡者がいる（因果関係は不明）

・ このほかにも新たにSARSが疑われる者が1名発生している

等の情報があり、中国内で感染拡大が起こっているおそれが否定できない。

対応

このため、24日から、感染拡大等がないことが確認できるまでの間、以下の対応をとることとする。

中国への出国者に対して、患者発生に関する情報提供、渡航中の感染防止等の注意喚起の徹底

中国からの入国者に対して、

- ・ 発熱、呼吸器症状を呈した者の申告を積極的に求める
- ・ 当該入国者を特定の検疫ブースに誘導するなどしてサーモグラフィー又は体温計を使用した体温測定を実施

最近のSARSの発生状況

平成16年3月29日
厚生労働省

1. 患者と確認された事例

(1) シンガポール研究生 (平成15年9月9日)

シンガポール国立大学の微生物研究室で研究を行っている27歳のシンガポール人研究生(男性)が、実験室内でSARSコロナウイルスに感染して発病。

(2) 台湾の研究者 (平成15年12月17日)

台北の国防大学予防医学研究所で研究を行っている44歳の台湾の研究者(男性)が、実験室内でSARSコロナウイルスに感染し、発病。

(3) 広東省のテレビ・プロデューサー (平成16年1月5日)

中国広東省広東市の32歳テレビ・プロデューサーが、SARSコロナウイルスに感染し発病。感染源は現在までのところ不明。

(4) 広東省の女性 (平成16年1月17日)

広東省で野生動物を扱う飲食店に勤務する20歳代女性がSARSを疑われ、5日、同省衛生当局が否定するが、8日、再び、SARSが疑われると発表された。感染源は確定されていないが、勤務する飲食店にあるハクビシンの檻からSARSコロナウイルスが検出されたとの報道がある。

(5) 広東省の男性 (平成16年1月17日)

広東省で35歳の自営業の男性が、SARSコロナウイルスに感染し発病。感染源は現在までのところ不明。
【ただし、この事例はWHOは可能性例として取り扱っている。】

(6) 広東省の男性 (平成16年1月31日)

広東省で40歳の開業内科医の男性が、SARSコロナウイルスに感染し発病したが、すでに回復し30日退院した。感染源は現在までのところ不明。接触者については、これまでのところ異状は認められていない。

2. 感染が疑われた主な事例

(1) フィリピン人女性 (平成16年1月7日)

香港で働いていた女性がフィリピンに帰国した後、SARSの疑いがもたれたものの、SARSは否定された。

(2) 香港のテレビ・クルー (平成16年1月8日)

SARS取材のため、広東省のSARS患者(上記1の(3))が入院した病院や、野生動物市場などを訪れた香港のテレビ局の記者ら3人がSARSが疑われたが、SARSは否定された。

平成15年7月5日、WHOが最後のSARS伝播確認地域となっていた台湾の指定を解除し、SARS制圧を宣言して以降の例

参考：WHOの報告によると、SARSの感染者数は8,098名、死者は774名。

(平成15年9月26日現在)